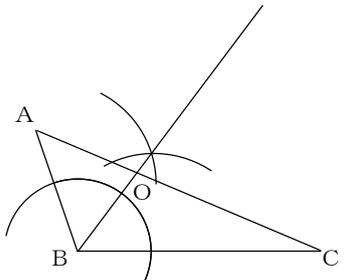


問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
<p>1 〔問 9〕 配点 6 点</p>		<p>○ <math>\angle ABC</math> の二等分線の作図の方法を用いて、辺 <math>AB</math>、辺 <math>BC</math> と接し、中心が辺 <math>AC</math> 上にある円の中心 <math>O</math> が正確に示されている。</p>
<p>2 〔問 2〕 配点 7 点</p>	<p><math>P, Q</math> を、それぞれ <math>a, b, c</math> を用いた式で表すと、  <math>P = 100a + 10b + c,</math>  <math>Q = a + b + c</math>                  これらより、  <math>P - Q = (100a + 10b + c) - (a + b + c)</math>  <math>= 99a + 9b</math>  <math>= 9(11a + b)</math></p> <p><math>a, b</math> は整数だから <math>11a + b</math> は整数である。                  したがって、<math>P - Q</math> の値は、<math>9</math> の倍数となる。</p>	<p>○ <math>P, Q</math> を、それぞれ <math>a, b, c</math> を用いた式で表すことができています。                  ○ 式の変形ができ、適切に処理することができています。                  ○ <math>P - Q</math> の値が、<math>9</math> の倍数となることを的確に示すことができています。</p>
<p>4 〔問 2〕 ① 配点 7 点</p>	<p><math>\triangle AQC</math> と <math>\triangle CPA</math> において、                  共通な辺だから、  <math>AC = CA</math> …………… (1)  <math>\triangle ABC</math> は二等辺三角形だから、  <math>\angle BAC = \angle BCA</math> …………… (2)  <math>AC \parallel PQ</math> より、平行線の同位角は等しいから、  <math>\angle BAC = \angle BQP</math>  <math>\angle BCA = \angle BPQ</math>                  よって、  <math>\angle BQP = \angle BPQ</math>  <math>\triangle BPQ</math> は二等辺三角形だから、  <math>BQ = BP</math> …………… (3)                  仮定から、  <math>BA = BC</math> …………… (4)                  また、  <math>QA = BA - BQ</math>  <math>PC = BC - BP</math>                  (3), (4) より、  <math>QA = PC</math> …………… (5)</p> <p>(1), (2), (5) より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、  <math>\triangle AQC \equiv \triangle CPA</math></p>	<p>○ 正しいと認められる事柄について、根拠を明確にして記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。</p>

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「○○と△△が書かれている。(3点)」「○○が書かれている。(2点)」「△△が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。